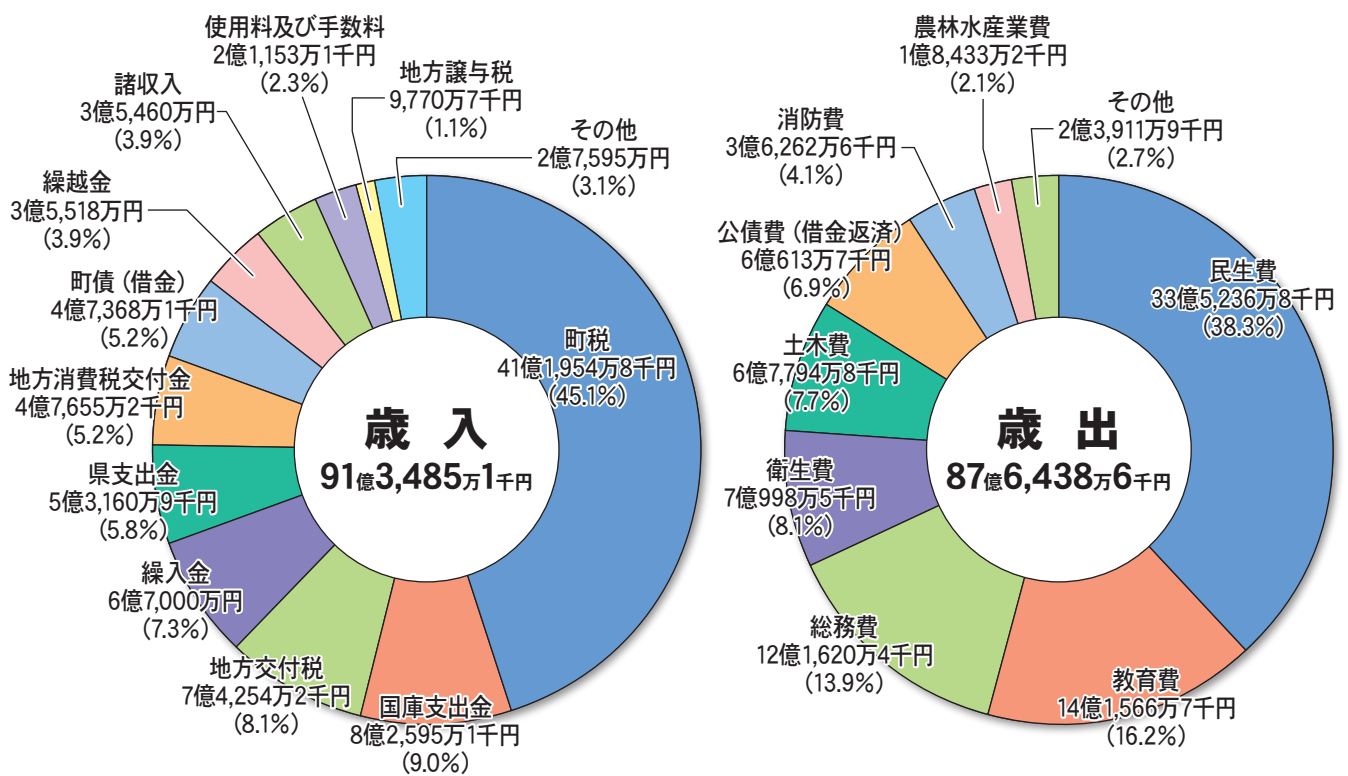


平成29年度 決算

平成29年度一般会計、5つの特別会計と水道事業会計の決算を審議した。

- 一般会計の歳入歳出差引額（形式収支）は、3億7,046万5千円の黒字となった。そのうち、翌年度（平成30年度）に繰越すべき財源としての繰越明許費繰越額4,086万2千円を差引いた実質収支は、3億2,960万3千円の黒字となった。
- 一般会計決算は、歳入・歳出ともに前年度より減額となっており、歳入・歳出ともに新庁舎建設事業の完了による減額が主な要因である。（歳入では町債などが減額となっている。）

平成29年度 一般会計決算



平成29年度 特別会計・企業会計決算

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
国民健康保険	29億7,032万4千円	28億1,641万4千円	1億5,391万円	
土地取得	17万円	17万円	0円	
下水道事業	5億9,104万2千円	5億8,123万8千円	980万4千円	
介護保険	18億8,367万8千円	16億4,299万6千円	2億4,068万2千円	
後期高齢者医療	3億5,816万9千円	3億4,506万2千円	1,310万7千円	
水道事業会計	収益的収支	6億42万9千円	5億1,855万4千円	8,187万5千円
	資本的収支	999万8千円	1億2,268万6千円	※△1億1,268万8千円

※不足分は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金、過年度分損益勘定留保資金で補てん。